



県議会議員
山本友子



市議会議員
小沢 みか



市議会議員
森山かおる

いちはら 市民ネットワーク通信

e-mail: i.shimin-net@muse.ocn.ne.jp
ホームページ http://ichihara-net.com/

発行：いちはら市民ネットワーク 代表 桑田尚子
〒290-0073 市原市国分寺台中央7-1-5 C1 ☎:0436-21-1907 Fax:0436-21-9073



市民ネットに メッセージをもらいました

◆あることがきっかけでした

私のような一市民が、困ったり疑問に思ったことを親身に聞いて、一緒に考えて行動してもらいました。私にとって市民ネットは、とても身近で、そして心強い存在です。

(立野)



◆「おっさん政治にモノ申す！」そんな頼もしい議員さんがいる市民ネット

現在の政治は「国民主権」と言いながら、国民の意見はほとんど反映されることはありません。そんな政治手法は、地方議会にまで及んでいて強く感じています。私達県民、市民の意見をしっかりと聞き、「県民・市民主権」の政治を実現してくれる市民ネットをこれからも応援していきたいです。

(守田)



「いちはらの未来を拓く」

選挙も地域活動も仲間と共に考え活動しています。女性とボランティアが主役、それが「いちはら市民ネットワーク」です。

国民の約半分は女性でありながら、政治の場は男社会。市民ネットはそのような政策決定の場に女性を送り出し、風穴を開けてきました。しがらみがないから、きっぱりとはっきりと発言してきました。これまで市民ネットが送り出してきた女性議員は7人です。

市原市が「ひこが主役」としている総合計画では、「ひこが主役」であると打ち出しています。まさに「私たちがめざしてきたまちづくりの姿です。これから皆様と力をあわせて頑張ります。」

暮らしと政治をつなぐ 市民ネット

●まちづくりの集い

議会報告だけでなく皆さんの声をお聞きする大切な機会となっています。私たちの政策は、市民とともに作ります。



姉崎公民館にて

●支え合い 助け合う仕組み

市民ネットの原点は福祉。障がいがあっても、高齢になっても地域で心細くならず暮らせる社会をめざします。



市内の残土処分場



●市原市の環境を守る

豊かな水と緑にめぐまれた市原。だからこそ、里山活動も環境保全活動も大切です。

医療と介護をつなぐ

市原市議会議員 小沢 みか



代表 桑田尚子 市議 森山かおる
県議 山本友子 市議 小沢みか

本年もよろしくお祈りします

その一方で、カウンター越しにお薬を渡しながら、病気や健康の相談はもちろん、仕事や家族の介護など、患者さんのプライベートな話題に発展することもしばしば。対話を通じ、議員として考えさせられることも多く、思い切って始めて良かったとつくづく感じています。

超高齢化社会が進む現在、市原市では、入院でも施設でも在宅でも、安心して適切な医療介護を受けられるよう、多職種顔の見え関係づくりが急ピッチで進められています。

今後は、互いの情報をスムーズにやり取りする仕組みが必要です。私も自分の立場を活かして、現場の声をしっかりと反映させていきたいと思っています。



ブログで活動を報告

生活弱者にもっと配慮を

今回はおもに生活弱者に視点をあて代表質問をしました。一つはJR3駅前のバリアフリー化、もう一つは防災対策についてです。



市原市議会議員

森山 かおる

◆障がい者用駐車スペースがなくて四苦八苦

市内のJR3駅にはエレベーターが設置されていますが、これだけではバリアフリーとはい

えません。公共交通の利便性が良くないため駅まで自家用車で送迎する方が多いのですが、障がいのある方が安心して乗り降りできる場所がないのです。

「やむを得ず空いているバス停に車を止めて車いすを下ろしていたら、バスがきて困った」「バスの時刻表を調べてバスが来ない時間にするようにしている」「市内には停められる場所がないので蘇我駅まで送った」など、不便を強いられています。

◆五井駅に幻の駐車スペース？

交通量が一番多い五井駅前は、バス、一般車、ゴルフ場送迎車などの混雑を解消するために、実はH24年に一般車や障がい者用駐車スペースを設置する改修計画がありました。レイアウトまで作られていたのに事業化されないまま4年が過ぎてしまっています。財源を含めた計画性がなかったと言わざるを得ません。現在の財政状況を考えると、事業化はますます厳しいでしょう。

そこで最低限の整備として、JR3駅前に障がい者用駐車スペースの設置を求めました。市は必要性を認識し、エレベーターの位置に合わせ

た設置について関係機関と調整していくと答弁しました。

これから東京オリンピック・パラリンピックに向けて、設備と心のバリアフリーが進められていきます。市原市を訪れる人にとっても使いやすい駅になるよう願っています。



◆防災対策に災害弱者の視点を

昨年は熊本、鳥取、福島で大地震が起きました。報道で流れる被災状況を見る度に市原の防災対策が気になります。市は地域防災計画の見直しを行っており、過去の教訓を活かした計画になるよう、以下を要望しました。

●より被害を受けやすい災害弱者（乳幼児や子ども・障がい者・高齢者など）の声を反映させるため、計画の作成に関わる防災会議に当事者を委員に加えること

●子どもに多い食物アレルギーの対応食については、備蓄の拡充と、民間事業者との応援協定を結んで確保すること

●道路が寸断された場合を想定して、避難所に指定されている学校のうち、備蓄品の保管場所がない13校に倉庫を設置すること

災害弱者といわれる人の声も充分吸い上げた防災対策を望みます。



市原市議会議員

小沢 みか

市原市が抱える最大の課題の一つ「残土・再生土の埋め立て問題」に切り込む

これまでの私の一般質問の中で最も関心を集め、40名以上の方が傍聴されました。



ブログで活動を報告

周辺住民の苦しみに市はどう応えるか



市原市鶴舞の再生土の山

◆「残土」「再生土」埋め立ての何が問題か

残土とは、建築・土木工事の現場で副産物として発生する土です。一方、再生土とは、同じく現場で発生した汚泥を資材として利用するために脱水・化学処理したものです。どちらも新たな工事で再利用されれば問題はないのですが、実際は使われずに山林などに埋め立てられるケースがほとんどです。

問題なのは、残土や再生土と称して産業廃棄物が混ざられ、土壌や地下水を汚染したり、埋め立て現場が雨で崩落するなど、周辺環境に甚大な悪影響を及ぼすケースが後を絶たないということです。

市原市は、首都圏内にありながら

緑豊かな地域が多いため、県外からも残土や再生土の処分事業が集中しやすく、そのたびに周辺住民は悩まされてきました。現在、市原市議会に対しても、事業許可を厳しくするよう求めた地元町会等54団体連名の陳情が提出されており、継続審査中です。小出市長は一昨年6月、就任後初の本会議で私の質問に対し「許可を厳しくするための市条例の制定を検討する」と答弁しています。

◆規制強化の条例改正に明快な答弁はなし

それから1年半が過ぎ、千葉県では18もの市町が独自に条例を定めています。市原市の条例化は未だに進んでいません。

12月議会でも再び質問したところ、市長は「県との連携を図り強固な体制をつくる」と曖昧な答弁に終止しました。

市も最大限の指導監視体制を敷いているとのことですが、地域住民の不安が解消されない以上、これからも規制の強化を求めて働きかけていきます。

●市民ネットは反対しました 地方議会議員の厚生年金制度加入を求める意見書

これは要するに「議員のなり手不足解消などのため、厚生年金制度に加入したい」というものです。6年前に議員年金が廃止され、現在は国民年金に移行しています。議員が厚生年金に加入した場合、掛け金は市（税金）との折半となります。制度を決める立場の政治家が、低年金の問題を先送りしたまま、自分たちだけ厚生年金に移行したいとの主張が、果たして世間に通用するのでしょうか。市民ネットは反対しましたが、結局この意見書は採択されました。（反対4 賛成27）



山本友子

県議会報告



ブログで活動を報告しています
「てくてくとこ」

12月議会の討論と2月代表質問の一部をお伝えします。給食費未納問題から見える子どもの置かれた状況改善を求めて質問しました。その他、森林の再生、議会の透明性など、言いたいことはてんこ盛りです。

給食費未納問題

給食費の無償化をめざそう

●給食費

「払わない?」「払えない?」

千葉県で給食費が払えない生徒の割合は小中学校合わせて約0.5%です。「親が貧乏な車に乗っているのに払わないのはけしからん」「払わないなら食べさせるな」という人までいます。でも実態は「払いたくても払えない」。給食費どころじゃないという家庭も多いのです。それに、親に問題があったとしても、そのペナルティを子どもが受けるのは、まちがっています。

日本では昭和7年から既に貧困世帯のための給食制度が始まりましたが、その時から子どもや保護者が負い目を感じないようにという細心の配慮がされてきました。

今はすべての子どもが栄養バランスのよい給食を食べることができているのですが、給食費が払えず肩身の狭い思いをしている子どももいるのです。国は「学校を学ぶ場とするだけでなく、子ども支援のプラットフォームとして、福祉の拠点にもしたい」と表明しています。教室の中に、貧富の格差を感じさせる差別があってはなりません。

●無償化する自治体続々

給食無償を打ち出している自治体も出てきました。千葉県でも大多喜町が中学生の給食を無償化しました。いずれは義務教育現場のすべての給食が無償になるよう声を上げていきます。

千葉県の給食費無償化に必要な財源
(平成25年データで試算)

	小学校	中学校
保護者が支払う給食費/1人	約4366円	約5053円
児童・生徒数	320千人	165千人
総額	248億円	

食材費分は保護者負担ですが、給食センター費や人件費は公費です

待ったなし!千葉県林業の再生を!

千葉県の森林は、県土の30%。建材として使える木は十分あるのに、今は荒れ果てています。

その森林再生をめざすため、間伐材をバイオマス燃料として電力や熱源に利用する事業の推進、県産木材の公共建築物への活用、間伐材を伐り出すための作業道の整備、林業が産業として成り立つためのプロの養成などについて聞きました。

森林再生のため予算として、県独自の環境税導入の検討も急ぐべきです。



木質バイオマス発電所
/市原グリーン電力を視察



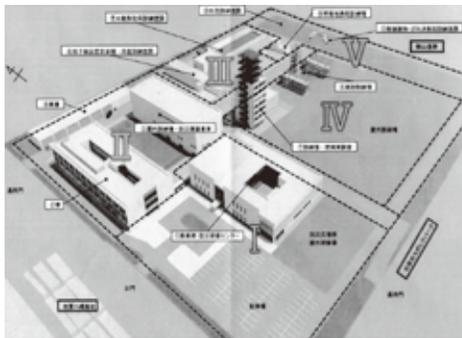
サンブスギの美林の再生を目指して

消防学校と

防災研修センターの

工事が開始

総事業費は124億円。液化対策の地盤改良はすでに終了し、建設も始まります。供用開始は2019年度です。防災の拠点が市原にできるのは嬉しいニュースです。



八幡のスポレクパーク横
消防学校・防災研修センター完成予想図

自民党(紹介議員)の請願を受けて 談合の賠償金を5億8347万円も減額!

2010年から4年間、県が発注した山武地域の土木工事で17社が208件の談合を繰り返してきたことが発覚。業者は県から賠償金を請求されましたが、賠償金の減額と分割納付を求め簡易裁判所で民事調停を行いました。その調停案を県が受け入れ、12月議会で議会も承認してしまいました。

賠償金は本来ならば契約金の20%(9億7245万円)なのに8%(3億8898万円)に減額。実は昨年2月議会で、業者から同じ趣旨で請願が出ており採択されていました。多数派である自民党が紹介議員になっていたからです。

議会の意向を受けての今回の議案は納得できません。今後の悪しき先例になれば千葉県の入札制度改革を大きく後退させることになります。反対討論をしました。



シリーズ26
ひとこまともこ

3月は、知事選!



知事報酬は全国のトップレベル。
千葉県の財政力は全国4位。でも福祉は全国でも最下位レベル。
いいのかなー。

第26回 定期総会&講演会

日時: 2月25日(土)

場所: 市原市民会館 3F 会議室
1部 総会 13:30~

2部 講演会 14:45~
「すてきな終活」~がんになっても大丈夫~
講師: 五味博子医師
五味クリニック(姉崎)院長 在宅医

市民ネットのお知らせ

市民ネット事務所で開催しています。
(月~金10:00~17:00) 連絡先 21-1907

●暮らしなんでも相談 議員が対応いたします
毎月 第4月曜日 10:00~16:30
次回予定 2月27日 3月27日 4月24日

●折り紙教室「折り紙名人」 福田進一氏
毎月 第3火曜日 13:00~15:00
次回予定 2月21日 3月21日 4月18日
参加費100円(震災復興支援に募金)

●おしゃべり介護喫茶
毎月 第4金曜日 13:30 オープン
店主 喜多庸子さん(介護歴19年)
次回予定 2月24日 3月24日 4月28日

●アートギャラリー

2月 水彩画展 竹内秋子
3月 布・毛糸の手作り小物展 宗田 明
4月 布絵の壁掛け展 伊藤 朱
☆あなたの作品を展示しませんか
会場の使用料は無料です。作品展・サークルの発表会などにご利用ください。
期間は1か月 月曜~金曜(土・日・祝日休館)
閲覧時間 10:00~16:30
委託販売できます。

市民ネットの活動は...

1. ネットの議員は、企業・団体とのしがらみがないので、きっぱり大胆に発言できます。
2. 議員報酬の多くを市民ネットの活動費に。
3. 一人ひとりの声を大切に市民参加の政治をつくりまします。

市民ネットワーク会員募集

会費振込先 いちはら市民ネットワーク
郵便振込口座 00130-3-575259
ゆうちょ銀行 店番058 普 2941343
年会費 2,000円

ボランティアさん紹介

通信を配布しています

20年ほど前から自宅付近の西国分寺台で通信を配布しています。季節や年月の移り変わりを感じながらウォーキングを兼ねて配っています。



坂田妙子

募集しています

- 通信の配布をしてくださいませんか。
- いっしょに議会の傍聴に行きませんか。
- 部会(環境・子ども・福祉・平和・まちづくり)活動に参加しませんか。

シリーズ 市原市のお財布事情(2)

増え続ける 民生費を考える



財政とは、「みんなからお金を集めて、みんなのために使う仕組み」です。今回は、歳出割合トップの「民生費」について考えます。

1. 民生費って何?

民生費とは、主に高齢者、障がい者、児童、生活保護にかかる社会保障充実のために使われる経費です。国民健康保険や介護保険への繰出も含まれます。

2. 他市との比較で見ると

市原市の住民一人当たりの民生費の合計金額は、12市の平均値12万2千円より2,900円多く12万4千円です。内訳を見ますと、社会福祉費・生活保護費が他市より多く、児童福祉費が低くなっています。

人口15万人以上の12市 平成26年の住民一人当たりの負担額

	児童福祉	社会福祉	老人福祉	生活保護	(千円)
1位	浦安 86.6	市原 37.7	船橋 21.1	千葉 36.8	
2	船橋 54.5	浦安 33.9	浦安 20.1	松戸 35.1	
3	流山 53.8	千葉 32.8	野田 19.6	市原 29.4	
↓					
7			市原 17.8		
↓					
11	市原 39.3	船橋 24.1	松戸 17.2	流山 16.1	
12	佐倉 38.6	習志野22.4	市川 16.5	佐倉 12.4	

児童福祉費...保育所関連等 社会福祉費...国民健康保険支援金等
老人福祉費...介護保険支援金等 生活保護費...生活保障のための支給金等

●民生費のこれから

民生費は、生活に直結する馴染みの深い費目です。市原市の平成13年度と26年度を比較すると、総額が105%になるのに民生費は233%と突出して増えています。減少幅が大きいのは土木費で、54%とほぼ半減しています。

民生費は、国の少子化対策・高齢者対策もあり、医療費への支援を考えても増え続けるでしょう。財源の配分をどうするか、議論が必要なところですよ。

「おしゃべり介護喫茶」店主のつぶやき

~市民ネットの事務所で第4金曜日に開催しています~

◆母の介護

認知症、パーキンソン病、糖尿病の母は今年91才。歩く時はフラフラ。時折食事が胃の入り口で詰まり大騒ぎになる。ディサービスが気に入らず、週3回も通って機嫌よく暮らしている。「庸子ちゃんがいなくて何にも出来ないよ」と感謝の言葉も忘れない。

しかし、一度何かにこだわると大変な事になる。この頃では入れ歯騒動で手を焼いている。母は夜寝る前、入れ歯を洗面所で消毒用の箱に入れて床につく。夜11時ごろ、排尿介助で部屋に行くとパッチリ目が覚めていて「私、歯が何にもないの。これじゃあ食べられないし、カッコ悪くてどこにも行けないよ。悲しくて涙が出て来て眠れなくなった」と言う。最初の日には「お母さん、入れ歯は洗面所にあるよ」と説明。でも次の夜も繰り返す。そこで入れ歯を持って来て説明。すぐに納得。しかし次の日も。毎夜毎夜繰り返す。とうとう私は「心配なのは歯

じゃなくあなたの頭の方じゃないの!」人に話すと「可愛いお母さんネ」と笑うけれど、私はとても笑えない。何度説明してもちゃんと通じないことが、私を疲れさせる。きっと介護している人ならその大変さがすぐに解るだろうに。

だから、私はそんな悩みを話せる仲間を作るために介護喫茶を開いています。



喜多庸子さん
(介護歴19年)

